

有斐閣 新刊案内

2021

9

ポケット六法 令和4年版

民法学の継承と展開《中田裕康先生古稀記念》

一歩先への憲法入門 第2版

社会とつながる行政法入門 第2版

事例で考える民事訴訟法《法学教室ライブラリ》

判例労働法入門 第7版

会社法判例百選 第4版《別冊ジュリスト254号》

国際法判例百選 第3版《別冊ジュリスト255号》

デジタルプラットフォームと独禁法《日本経済法学会年報第42号》

書齋の窓 9月号《第677号》

法学教室 9月号《第492号》

ジュリスト 9月号《第1562号》

表示価格は税込です。

予価・内容は変更になる場合があります。

since 1877



有斐閣

民法・不動産登記法（所有者不明土地関係）改正に対応

ポケット六法 令和4年版

編集代表 さ えきひとし 佐伯仁志・おむらあつし 大村敦志
中央大学教授 学習院大学教授

*収録法令 200件

B6判 並製箱入 2,100頁 ●2,090円(税込) 978-4-641-00922-6

- *法学の講義から日常実務まで必要な基本法令をもれなく収録
- *最新の改正条に傍線付加
- *重要法令は大文字・理解を深める参照条文・便利な事項索引付き
- *メールサービス「ポケ六通信」への登録で、刊行後の改正情報を配信
- *丈夫で開きやすいしなやかな造本
- *ご希望の方に小冊子『有斐閣六法の使い方・読み方』を贈呈

《令和4年版の特色》

- ◇相続等により取得した土地所有権の国庫への帰属に関する法律を抜粋収録
- ◇民法、不動産登記法、少年法、会社法施行規則等重要改正に対応
- ◇民法（債権法等）改正前規定も引き続き併記
- ◇参照条文・事項索引等充実した編集内容
- ◇注記法令をより見やすい体裁に変更

《新収録法令》相続等により取得した土地所有権の国庫への帰属に関する法律、民事執行法第二百五条第一項に規定する法務省令で定める登記所を定める省令

《主な改正》民法、不動産登記法、少年法、個人情報保護法、国家公務員法、会社法施行規則、特許法、著作権法等



978-4-641-12626-8

条文の読み方 第2版 法制執務・法令用語研究会／著 四六判並製222頁 ●990円(税込)

六法の最強バッテリーがリニューアル
条文を読む際に必要な基礎知識（法律（条文）の種類、構造など）と、条文頻出の基本用語を丁寧に解説。条文読解のための必携書。

おかもとひろき おきの まさみ とりやますし やまの めあきお
岡本裕樹・沖野眞己・鳥山泰志・山野目章夫 編
筑波大学教授・東京大学教授・東北大学教授・早稲田大学教授

民法学の継承と展開

中田裕康先生古稀記念

A5判上製箱入
976頁
予価24,200円(税込)
978-4-641-13861-2

長年民法学の研究に携われ、学界をリードしてこられた中田裕康先生の古稀を祝し、幅広い年代の執筆者が論攷を寄せた珠玉の論文集。

《主な目次》

民法総論

民法解釈方法論の近況	小粥太郎
星野英一の中の民法学史——概説書の書き方をめぐって	大村敦志
「法律不遡及の原則」の一考察——通則法附則2条・3条再考	早川眞一郎
個人財産制と法手続に関する一考察	水野紀子

民法総則

非営利法人の清算手続について——特例財団法人の清算手続をめぐる裁判事例を中心に	鎌野邦樹
意思表示の解釈方法再論	滝沢昌彦
共同型の法律行為について	山城一真
ドイツ法における暴利規定の生成と展開	小野秀誠
信託と錯誤	山下純司
意思表示の効力発生時期規定の現代化——リーガルイノベーション序説	角田美穂子

物 権

不動産に対する商人留置権（商事留置権）の成否について	鳥山泰志
動産質権者による質物の占有の回復	佐久間 毅

債 権

債権者の責に帰すべき事由——債権法改正後の民法の文脈において	潮見佳男
契約不適合責任と情報提供義務違反の競合の際の損害賠償額の算定	小笠原奈菜
保証人に対する権利行使とその訴訟構造	山野目章夫
債権譲渡における抗弁の放棄の法的意義について	森田宏樹
3当事者間の相殺に関する合意と差押え	米倉暢大
ドイツ倒産法の相殺規制におけるコンツェルン差引清算条項の問題性	岡本裕樹
イングランド法における契約解釈法理の変遷とその行方	石川博康
新たなフランス民法における理由提示義務——改正前の議論から改正の内容まで	小林和子
改正民法における合意をめぐる攻防	後藤巻則
賃借物の一時使用収益不能における賃料債権の帰趨	秋山靖浩
ローマ法における「賃約」(locatio conductio)の三類型とその現代的意義——「役務提供契約」論の基礎理論のために	森田 修
古法学説にみる委任事務の財産構造	平野秀文
受任者の自己執行義務と復委任の規制	米村滋人
高齢者の預金取引における家族の権限と金融機関の責任	大塚智見
不法行為法における権利論の展開と限界（序説）	大塚 直
インターネットにおける検索結果の削除について——「情報流通基盤」を考える視点	内田 貴
公務員の不法行為と民法709条に基づく責任	窪田充己
「組織的過失」について	河上正二

親 族

いわゆる「身分行為」と方式としての届出——婚姻を中心に	前田陽一
親権者の利益相反行為について	角紀代恵

諸法・外国法

日本の消費者法における広告規制—その比較法的特徴	山本敬三
主債務者破産後の物上保証人による一部弁済と手続開始時現存額主義——劣後的破産債権と不当利得をめぐる	沖野眞己
イタリアにおけるサッカー選手の移籍——労働契約と契約譲渡	アンドレア・オルトラニ
アメリカ法における被相続人のデジタル情報に対する人格代表者のアクセス——Revised Uniform Fiduciary Access to Digital Assets Actを巡る議論を素材として	加毛 明

ここから、一步先へ！

(9月下旬発売予定)

かたぎりなおと いのうえたけし おおばやしけいご
片桐直人・井上武史・大林啓吾 著
大阪大学准教授・関西学院大学教授・千葉大学教授

一步先への憲法入門 第2版

A5判並製カバー付
320頁
予価2,420円(税込)
978-4-641-22823-8

高校までの学びと大学での学びの架橋を目指した入門書。各ユニット冒頭でトピックを示しながら、より身近に、より具体的に、「考えながら」憲法を学ぶ。初版発行から5年の間に
出された重要判例をフォローするとともに、時事的な記述も最新のものに改めた。

《主な目次》

Unit 0	ガイダンス	Unit 10	裁判所2	Unit 20	集会・結社の自由
Unit 1	憲法とは何か	Unit 11	地方自治	Unit 21	職業選択の自由
Part 1	統治機構	Unit 12	戦争放棄と自衛隊	Unit 22	財産権
Unit 2	統治総論	Part 2	基本的人権	Unit 23	刑事手続上の権利
Unit 3	国民主権	Unit 13	人権保障の仕組み	Unit 24	生存権
Unit 4	天皇	Unit 14	思想・良心の自由	Unit 25	教育を受ける権利
Unit 5	選挙制度・選挙権	Unit 15	信教の自由	Unit 26	勤労の権利と 労働基本権
Unit 6	国会1	Unit 16	政教分離	Unit 27	平等原則
Unit 7	国会2	Unit 17	表現の自由1	Unit 28	自己決定権
Unit 8	内閣	Unit 18	表現の自由2	Unit 29	プライバシーの権利
Unit 9	裁判所1	Unit 19	表現の自由3		

行政法って、おもしろい！

(9月下旬発売予定)

おおはしやういち
大橋洋一 著
学習院大学教授

社会とつながる行政法入門 第2版

A5判並製カバー付
186頁
予価1,980円(税込)
978-4-641-22820-7

新型コロナウイルス感染症を素材に行政上の義務の実効性確保を学び、土砂災害を素材に事実行為を学ぶ——実際の事件や社会問題をモデルとした事例から行政法を説き起こす。興味をもって読み進むうちに行政法の基本が身につく、社会認識の眼が養われる、最新版テキスト。

《主な目次》

Chapter 1	ライフサイクルと行政法●行政法への招待	Chapter 2	ごみ屋敷対策●法律による行政の原理を学ぶ
Chapter 3	一発レッドカード●行政上の一般原則を学ぶ1	Chapter 4	卑弥呼のライバル登場●行政上の一般原則を学ぶ2
Chapter 5	お年寄りと子どもを守れ●行政行為を学ぶ	Chapter 6	水際作戦と孤独死●行政手続を学ぶ
Chapter 7	保育所落ちたくない●行政基準を学ぶ	Chapter 8	マンション選びクイズ●行政計画を学ぶ
Chapter 9	江戸の敵を長崎で討つ●行政指導を学ぶ	Chapter 10	活かされなかった教訓●事実行為を学ぶ
Chapter 11	ロックダウンは憲法違反？●行政上の義務の実効性確保を学ぶ	Chapter 12	いじめ事件の真相に迫る●情報公開法を学ぶ
Chapter 13	タヌキの森はいま●行政訴訟を学ぶ1	Chapter 14	少女の夢●行政訴訟を学ぶ2
Chapter 15	ごみ処理の悩み●行政訴訟を学ぶ3	Chapter 16	生活の糧を守る●行政不服申立てを学ぶ
Chapter 17	ピラミッド崩壊●国家賠償を学ぶ	Chapter 18	津波から命を守る●損失補償を学ぶ

な つ い よ し ひ ろ つ ゐ た し げ る は っ た た く や あ お き さ と し
名津井吉裕・鶴田 滋・八田卓也・青木 哲 著

大阪大学教授・大阪市立大学教授・神戸大学教授・神戸大学教授

事例で考える民事訴訟法

A5判並製力バー付

500頁

予価3,520円(税込)

978-4-641-13863-6

知識のインプットとアウトプットの間にある「溝」を架橋する演習書。主要テーマについて練られた事例と丁寧な解説で、答案への道筋を見つめる力を磨く。答案作成力向上のためのヒントも随所に散りばめられており、事例問題が苦手でも大丈夫。

《主な目次》

【事例で取り上げるテーマ】

訴訟物 *
申立事項と判決事項の一致
訴えの利益
当事者の確定
当事者能力・訴訟能力
任意的訴訟担当
法定訴訟担当
弁論主義・要件事実
弁論主義・自白
事実認定
文書提出命令
相殺の抗弁 *
既判力の時的限界
既判力の客観的範囲・一部請求
既判力の主観的範囲

争点効と信義則

反射効 *
二重起訴の禁止
判決によらない訴訟の終了
通常共同訴訟、同時審判申出共同訴訟
固有を必要的共同訴訟
類似を必要的共同訴訟
独立当事者参加
補助参加・訴訟告知
訴訟承継
職権調査事項と上訴
請求の客観的予備的併合と上訴 *
再審と送達

*書籍化にあたり新規書き下ろし

【民事訴訟法における答案作成の作法】も新収録。

判例をきちんと踏まえて労働法を理解できる

(9月中旬発売予定)

の だ す す む や ま し た の ほ る や な ぎ さ わ た け し
野田 進・山下 昇・柳澤 武 編

九州大学名誉教授・九州大学教授・名城大学教授

判例労働法入門 第7版

A5判並製力バー付

458頁

予価3,300円(税込)

978-4-641-24347-7

重要判例を軸として、労働法の全体を平易に解説した好評のテキスト。随所で重要判例の事案と判旨を紹介し、労働法の体系的知識と判例の考え方・位置づけとを一体的に学べるよう工夫。最新の判決や改正を織り込んだほか、コロナと労働などの話題も採り上げた。

《主な目次》

第I編 基本構造

第1章 労働法の課題と役割/第2章 労働法上の当事者

第II編 労働契約

第3章 労働契約の締結過程と成立/第4章 有期労働契約/第5章 労働契約の展開と権利・義務/第6章 就業規則と労働契約/第7章 労働契約の変更/第8章 人事異動・配転・出向/第9章 休業・退職/第10章 懲戒/第11章 解雇/第12章 退職とその法律関係

第III編 雇用平等と均衡、人権

第13章 雇用平等/第14章 労働者の自由と人権/第15章 パート有期労働、派遣労働

第IV編 労働条件

第16章 賃金/第17章 労働時間/第18章 休憩・休日と年次有給休暇/第19章 年少者・妊娠婦等/第20章 労働安全衛生と労災補償

第V編 労使関係

第21章 労働組合/第22章 団体交渉/第23章 労働協約/第24章 団体行動/第25章 不当労働行為

別冊ジュリスト254号

(9月中旬発売予定)

かんさくひろゆき ふじ たともたか かとうたかひと
神作裕之・藤田友敬・加藤貴仁 編
東京大学教授・東京大学教授・東京大学教授

会社法判例百選 第4版

B5判並製
236頁
予価2,750円(税込)
978-4-641-11554-5

会社法分野の最重要判例を厳選した判例教材の大定番、待望の改訂。令和元年会社法改正等、旧版(2016年)刊行以降の動きに対応し、内容をアップデート。本編102件・Appendix 44件の判例を収載した。会社法を学ぶ上で必携の一冊。

《主な目次》

- | | |
|--------------------|---------------------|
| I 会社総則 (3件) | (6) 計算 (4件) |
| II 株式会社 | III 持分会社 (4件) |
| (1) 設立 (4件) | IV 社債 (2件) |
| (2) 株式・新株予約権 (19件) | V 組織再編・解散 (12件) |
| (3) 株主総会 (14件) | VI 企業買収・支配権の争奪 (7件) |
| (4) 取締役・取締役会 (29件) | VII 刑事事件 (2件) |
| (5) 監査役・会計監査人 (2件) | 計102件ほかAppendix 44件 |

別冊ジュリスト255号

(9月下旬発売予定)

もりかわこういち かねはらあつこ さかいひろのぶ にしむら ゆみ
森川幸一・兼原敦子・酒井啓亘・西村 弓 編
専修大学教授・上智大学教授・京都大学教授・東京大学教授

国際法判例百選 第3版

B5判並製
248頁
予価2,860円(税込)
978-4-641-11555-2

第2版から10年ぶりの改訂となる第3版では、国際法分野の最重要判例115件を収録。従来の版と同様、講学上の体系と結び付けた項目立てに従い、リーディングケースを配分した。横断的に読むための工夫も施された、国際法学習に必須の一冊。

《主な目次》

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1 国際法の法源 | (4)国際刑事法 |
| 2 国際法と国内法との関係 | 9 条約 |
| 3 国家 | 10 国家責任 |
| 4 国家管轄権 | (1)一般原則 |
| 5 領域 | (2)外交的保護 |
| 6 海洋 | 11 経済活動 |
| 7 国際組織 | 12 環境保護 |
| 8 個人 | 13 国際紛争処理方式 |
| (1)個人の国際法主体性と国際法上の権利 | 14 国際裁判手続 |
| (2)外国人の権利と難民 | 15 平和と安全の維持 |
| (3)国際人権法とその実現 | 16 武力紛争法 |

にほんけいざいほうがっかい
日本経済法学会 編

デジタルプラットフォームと独禁法

A5判並製
162頁
●3,080円(税込)
978-4-641-24348-4

《主な目次》

〈特集〉デジタルプラットフォームと独禁法

- デジタルプラットフォームと独禁法——現状と課題 ……………東條吉純
- デジタルプラットフォームと競争者排除行為規制 ……………武田邦宣
- デジタルプラットフォームに対する優越的地位の濫用規制の意義 ……………柴田潤子
- デジタルプラットフォームと企業結合規制 ……………和久井理子
- デジタルプラットフォーム事件における問題解消措置と確約措置の実効性
……………Vande Walle, Simon
- デジタルプラットフォーム市場において競争阻害が懸念される要因について ……松島法明
- 〈2020年度シンポジウムについて〉
- 景表法と優越的地位の濫用のエンフォースメント
——消費者取引適正化という観点からの包括的法執行を目指して ……………滝澤紗矢子
- 独占禁止法1年の動き ……………渡辺昭成
- 〈コロナ (Covid-19) 禍のもとでの競争政策・独禁法〉
- 新型コロナウイルスと経済法 ……………舟田正之
- 学会の動き 2021 ……………川濱 昇

PR誌 読者と著者を結ぶ…

(9月1日発行)

書齋の窓

9月号
(第677号)

A5判並製 定価：無料

《主な目次》

【巻頭のことば】

原因を探る作法を通して〈今〉を読む③「鏡よ、鏡よ、鏡さん」「鏡を割っちゃダメでしょう」= 久米郁男

【法律・政治】

〈連載〉

平らな鏡で世界を見れば⑧(最終回)君たちはどう生きるか= 辰井聡子

憲法と学校③親の教育する権利と憲法(その2)——婚姻・離婚と教育する権利の関係= 木村草太

奴隷と法と裁判⑤近世自然法= 能見善久

〈書評〉自然・テクノロジー・法の交錯点からの透視図(『バイオテクノロジーの法規整——交差する公法と知的財産法』)= 平嶋竜太

【経済・経営】

〈連載〉ワーク・デザインの過去・現在・未来④プロアクティブ性への注目= 高尾義明

〈自著を語る〉『教養としてのグローバル経済——新しい時代を生き抜く力を培うために』= 齊藤 誠

【人文・社会】

〈リレー連載〉学生と教員のパラレルワールド——学生相談は水先案内となりうるか⑥「これってハラスメントなの？」ハラスメントのグレーゾーンと相談員への水先案内〈事例4〉= 今村理恵・橋本和幸

〈自著を語る〉『協力の条件——ゲーム理論とともに考えるジレンマの構図』= 盛山和夫

〈書評〉『発達障害・知的障害のための合理的配慮ハンドブック』= 村木厚子

2021.
9 Sep.
NO.492

学習が進む、理解が深まる。法学がもっと面白くなる。

法学教室 HOGAKU KYOSHITSU

8月27日発売
B5判
定価1,569円
(本体1,426円)

〔特集〕 条文から進める行政法の学び

- I 行政法規範の種類と意義 ●大江裕幸
- II 委任立法 ●野口貴公美
- III 条例についての個別法の定め
●筑紫圭一
- IV 行政裁量と条文・行為形式
●高橋正人
- V 処分根拠法と手続法の適用
●折橋洋介
- VI 行政事件訴訟法36条 ●湊 二郎

巻頭言 ●森田宏樹
法学のアンブレ ●高谷知佳
未来志向で学ぶ外国法「韓国」 ●安部祥太

〈法学教室プレイバック〉 〔最終回〕

経済法分野 ●武田邦宣
国際私法分野 ●横溝 大

〈国会概観〉

「第204回国会主要成立法律」 ●高森雅樹

講 座
憲法 教科書のその先へ ●曾我部真裕
行政法教室 ●大橋真由美
日本家族法を考える ●水野紀子
ケースで探案 ●会社法 ●伊藤靖史
知的好奇心を刺激する民訴法 ●林 圭介
刑法総論の基礎にあるもの ●安田拓人
事例から考える刑事証拠法 ●川出敏裕ほか

演 習
憲法 ●佐々木くみ / 行政法 ●戸部真澄
民法 ●川地宏行 / 商法 ●松中 学
民訴法 ●安西明子 / 刑法 ●嘉門 優
刑訴法 ●吉開多一

〈判例セレクトMonthly〉

憲・行・民・商・民訴・刑・刑訴 / 計7件

ジュリスト

No.1562 9月号

定価1,569円
(本体1,426円)

発売
8月25日
B5判

特集・所有者不明土地と民法・不動産登記法改正

〔座談会〕 改正の意義と今後の展望

……佐久間 毅・今川嘉典・大谷 太・
中村晶子・松尾 弘・村松秀樹

新しい相隣関係法……………鳥山泰志
新しい共有法……………伊藤栄寿
新しい相続法——令和3年民法等改正と
遺産共有……………水津太郎

〈連載〉

新・改正会社法セミナー⑥

「株主提案権(1)」

……藤田友敬・澤口 実・三瓶裕喜・
田中 亘・長谷川顕史・松井智予

新法の要点

新たに商標権侵害行為となる模倣品の
持込みによる輸入について……江崎奈歩

霞が関インフォ

産業競争力強化法改正（パブリックオンリー
株主総会）の概要……………安藤元太
総務省行政管理局における調査法制課の
設立について——研究者と実務者による
研究ネットワークの形成

……………橋本将志・松本未希子

BOOK TERRACE